

## 📖 シリーズ「きょうだいの思い」⑬

### 進学

小学校の低学年の頃から、将来の夢は『養護学校の先生』になることだった。年齢が上がるにつれて『養護学校の先生』から『障害者と関わる仕事』へ夢は変わっていった。

こうして『夢』と書いているが、どうもこの言葉はシッカリこない。ただ、この仕事以外には考えられなかったので、高校を卒業後は福祉を学ぶために進学したいと決めていた。

両親別々に、自分の進路を話した時を思い返すと、母に話した時のことは記憶に残っていない。

父に話すと、何とも言い難い表情で「それでいいんか？」と返ってきた。この一言に含まれる父の想いはその場ですぐに感じ取れたが、私は特に返事をしなかった。

受験では、筆記試験を終えて面接があり、福祉の仕事を目指す理由を尋ねられた。

私はきょうだいの立場であることを話すと、面接官の先生が願書に目を通しながら『…さんって…もしかしたら…君のお姉ちゃんか？』と聞いてきた。

京都に住んでいた頃、母は『自閉症児を守る会』に在籍していたので、毎年夏休みに丹後半島へ行く親子キャンプの行事があった。高槻へ転居した後もしばらくの間キャンプに参加していて、私も毎年楽しみにしていた。キャンプには大学生のキャンプリーダーが数多く来ていて、面接官の先生はその時のキャンプリーダーだったのである。もうビックリ仰天！！だったが、そのおかげで(?)合格することが出来た(笑)

この頃の弟は、中学を卒業して花屋で働いていた。養護学校への進学を選ばず、弟を受け入れてくれる場所を探し出した母の選択に、私は何ひとつ違和感はなかった。

# 前穂通信

まえほつうしん

発行日

2012年7月1日

発行元

自立センター前穂  
〒569-1022  
高槻市日吉台  
1番町21-18  
072-689-8600



## 🌿 新しいスタッフのご紹介

### スタッフ紹介①

### スタッフ紹介②